

補助事業番号 22-2-414

補助事業名 平成22年度 機器の整備 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 古平福社会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

昭和56年8月開設の障害者入所支援施設「共働の家」の障害重度化、加齢（高齢化）の障害者等に障害者自立支援法による生活介護、生活訓練として身体機能に対する専門的リハビリテーションや運動器の維持向上のため、又、古平町（近隣町村含む）在宅高齢者にも使用範囲を拡げて、広く地域のバリアを取り除くためにも、この運動器具及びA D L動作改善の機器を整備し社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

障害者入所支援施設「共働の家」付設れい明会館地域交流ホーム（H2年度日本自転車振興会助成、H20年度車輛競技公益資金財団改修助成）の1FにH22年度財団法人JKAの補助事業実施により「共働の家」の障害重症化、加齢（高齢化）の利用者に併せ、在宅障害高齢者及び在宅高齢者の心身機能の減衰・有症化などの回復、改善に運動・作業・理学療法などの専門的機器等を整備する。

整備事業

ア、運動器具～平行棒（昇降式）1基、ベッド（バランスマット）2台、
肋木（壁面用）及び懸垂棒1ヶ、歩行訓練階段及び踏台1式、
エクササイズミラー1台

イ、A D L動作練習（シミュレーション用）具～昇降、壁面、洗面、立上り
椅子等ユニット各1台、同上保管用ワゴン2台、入浴動作入浴セット
1セット

2. 予想される事業実施効果

加齢や疾病等が加速要因・因子となり心身機能の低下した方に対する動作改善、回復の指導や福祉用具・自助具等を選ぶ時の助言を行う機会、又はそれらを用いて自立動作を習得する機会、障害者自立支援法における生活介護・自立訓練（機能訓練・生活訓練）プログラムの一環としての活用。当事者の地域での生活を支える関係者（家族やスタッフ等）に対する介助・援助方法や改修等の環境設定を行う上でのポイントを説明する機会が考えられ、A D Lシミュレーションシステム、運動器具利用によって利用者に適切な介助方法はどうすれば良いのかといった気づきと生活の質の改善が大いに期待できます。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・法人パンフレット（れい明の里のご案内）
- ・機関誌（自立をめざして）
- ・研修会資料

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：社会福祉法人 古平福祉会（フルビラフクシカイ）
住 所：046-0194 北海道古平郡古平町大字歌棄町204番地
代 表 者：理事長 木村 輔宏（キムラ スケヒロ）
担当部署：法人事務センター（法人本部）（ハウジングムセンター）
担当者名：(理事) 事務局長 菊地 修二（キクチ シュウジ）
電話番号：0135-42-4161
F A X：0135-42-4162
E-mail：remeinosato@oboe.ocn.ne.jp
U R L：